

自殺リスクの早期発見に関する研究

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成 30 年 9 月 3 日 ～ 平成 33 年 3 月 31 日

〔研究課題〕

若者の自殺リスクアルゴリズムの解明：救急受診患者および入院患者のカルテ情報を活用した検討

〔研究目的〕

救急受診患者や入院患者のカルテ情報から得られる様々な情報を解析し、自殺リスクを予測するための実用的な指標の構築を目的とします。

〔研究意義〕

臨床実用に耐えるレベルでの自殺リスク予測指標を構築することを目指します。

〔対象・研究方法〕

救急受診患者およびメンタルヘルス科入院患者のカルテ情報を収集し、解析します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部精神神経科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

患者様の情報は、分析する前に氏名、住所、生年月日などの個人情報を削り、代わりに新しく番号をつけ、誰のものか分からないようにした上で、当研究室において厳重に保管します。なお、本研究に不参加を希望される方は、下記連絡先まで御連絡下さい。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：医学部精神神経科学講座 教授 栃木衛

研究分担者：医学部精神神経科学講座 博士研究員 北川裕子

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 帝京大学医学部精神神経科学講座 TEL：03-3964-1462